

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 岩田 淳

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	84,363	0.5	9,992	31.9	10,967	35.0	5,931	44.1
21年3月期第1四半期	83,947	—	7,574	—	8,122	—	4,117	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	93.19	93.18
21年3月期第1四半期	64.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	283,514	193,253	61.4	2,734.86
21年3月期	278,313	185,590	60.2	2,634.12

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 174,078百万円 21年3月期 167,667百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		32.00	—	32.00	64.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	174,000	2.3	15,800	3.5	16,200	7.6	9,300	15.9	146.11
連結累計期間	378,000	8.7	38,500	10.4	39,000	23.4	20,000	16.8	314.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	68,981,591株	21年3月期	68,981,591株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	5,329,692株	21年3月期	5,329,376株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	63,652,078株	21年3月期第1四半期	63,733,228株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)は、国内主力事業の強化と海外事業の拡大に取り組みました。国内パーソナルケア事業では、高付加価値商品の投入とラインアップの充実、新しい価値の提案に取り組みました。またペットケア事業では、高付加価値カテゴリーの商品ラインを強化いたしました。海外事業では、成長市場であるアジア、中東地域においてブランド力の強化を推進するとともに、展開エリアの拡大を積極的に進めました。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は84,363百万円(前年同期比0.5%増 為替変動要因を除くと実質前年同期比7.0%増)、営業利益は9,992百万円(前年同期比31.9%増 為替変動要因を除くと実質前年同期比37.7%増)、経常利益は10,967百万円(前年同期比35.0%増)、四半期純利益は5,931(前年同期比44.1%増)と過去最高の収益の達成となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①パーソナルケア

【ベビーケア事業】

国内では、新開発不織布「ふわり〜ウェーブ」を採用した『ムーニー新生児用』『ムーニーSサイズ』を発売し、ムーニーブランドの強化に取り組みました。さらに『マミーポコパンツ』の入り枚数を変更しお買い求め易くするとともに、月齢の高いお子様のために『マミーポコパンツ ビッグより大きいサイズ』を新発売してラインアップを一新いたしました。

一方、海外では、成長市場において積極的に販売エリアを拡大し売上げを伸ばしました。中国では参入都市を拡大し高い成長と収益改善が進みました。またインドネシア、中東・北アフリカにおいても売上を大きく伸ばし継続して成長することができました。

【フェミニンケア事業】

国内では、清潔志向の高い女性たちにパンティライナー『ソフィKiyora』『ソフィふわごち 天然エアコットン』を発売し、使用者の拡大を図りました。生理用ナプキンでは、夜用『ソフィ超熟睡ガード』シリーズや肌ケアカテゴリー商品『ソフィはだおmoi』の販売に注力し、高付加価値カテゴリーの強化による収益改善を図りました。

海外では、アジア参入各国で夜用タイプ、スリムタイプなど高付加価値ナプキンの販売を強化し売上の拡大と収益力を強化しました。また、周辺国や周辺都市へ販売エリアを拡大し普及促進と売上の拡大を進めました。

【ヘルスケア事業】

尿ケア専用品『ライフリーさわやかパッド』『チャームナップ』を改良新発売し、尿ケア専用品の認知率や使用率の向上とともに市場拡大を進めました。また、ライフリー「生きることが、リハビリ。」応援キャンペーンを実施し、介護に携わる人たちを応援するとともにブランドの強化、浸透を図りました。

また、介護する人される人双方の生活の質の向上を目標に進めてきた(株)日立製作所との共同事業化の成果として、尿吸引ロボ『ヒューマニー』を発売し新しい価値の提案を実施いたしました。

【クリーン&フレッシュ事業】

目に見えないバイ菌までしっかり拭き取り除去できる『シルコットウェットティッシュ99.99%除菌』を改良新発売し、衛生意識の高まりに応えました。また、シートクリーナー『ウェーブ』シリーズに新色のパステルピンクを新発売し、より多くの方にご愛用頂けるよう商品ラインアップを充実しました。

この結果、パーソナルケア事業の売上高は69,993百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は7,273百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

②ペットケア

消費者ニーズを捉えた製品の開発・市場創造に努め、国内のペット飼育の4大潮流「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」を踏まえた製品ライン拡充と販売促進を行いました。

ペットフード部門では、子犬・子猫の成長とからだ作りに最適な栄養バランスを持つフード、犬用『愛犬元気 健康に育つ子犬用』、猫用『銀のスプーン 健康に育つ子猫用』、増え続ける高齢の犬・猫に対応し、犬用『愛犬元気 10歳からの中・大型犬用』、『愛犬元気ベストバランス ミニチュア・ダックスフンド7歳以上用』、『愛犬元気ベストバランス シー・ズー7歳以上用』、猫用『銀のスプーン プレミアムグルメ7歳以上用』、『銀のスプーン プレミアムグルメ 11歳以上用』、猫用の総合栄養食タイプのパウチとして『ねこ元気 総合栄養食 パウチ』、犬用のおやつとして『銀のさらきょうのごほうび ささみ白身魚巻き・野菜入り』、『銀のさらきょうのごほうび やわらかささみミックス野菜・チーズ入り』を発売しました。

ペットトイレタリー部門では、『デオシート』・『デオシート 強力消臭パワー』・『ZEROワン』といった犬の排泄処理用シートを、「モレ」「足濡れ」「消臭」といったペットシートの3大ニーズに、より高い水準で対応するべく、リニューアルしました。

この結果、ペットケア事業の売上高は11,595百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は2,433百万円（前年同期比43.3%増）となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用製品分野においては、スーパーマーケット等を顧客とする食品包材事業を中心に、業務用食品包材である『フレッシュマスター』『フレッシュマスター保鮮紙』のスーパーマーケットへの浸透強化と飲食店ルートへの販売を強化しました。

この結果、売上高は2,774百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は272百万円（前年同期比137.7%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は283,514百万円（前連結会計年度比5,201百万円の増加）となりました。主な増加は、現金及び預金1,976百万円、有価証券2,562百万円、機械装置及び運搬具2,212百万円、投資有価証券2,638百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金△3,016百万円、商品及び製品△2,001百万円、原材料及び貯蔵品△934百万円などによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は193,253百万円（前連結会計年度比7,662百万円の増加）となりました。主な増加は、当第1四半期純利益5,931百万円や為替換算調整勘定1,187百万円、その他有価証券評価差額金998百万円、少数株主持分1,250百万円であり、主な減少は剰余金の配当の支払1,718百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は61.4%（前連結会計年度比1.2ポイント増）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間、通期ともに当初予想（平成21年4月30日）からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,601	74,625
受取手形及び売掛金	37,913	40,929
有価証券	8,097	5,534
商品及び製品	10,902	12,903
仕掛品	266	342
原材料及び貯蔵品	8,510	9,445
その他	11,460	10,594
貸倒引当金	△79	△84
流動資産合計	153,671	154,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,044	23,898
機械装置及び運搬具(純額)	43,016	40,804
その他(純額)	21,630	19,543
有形固定資産合計	88,692	84,247
無形固定資産		
のれん	12,711	12,734
その他	2,401	3,493
無形固定資産合計	15,112	16,228
投資その他の資産		
投資有価証券	18,248	15,609
その他	8,359	8,101
貸倒引当金	△569	△164
投資その他の資産合計	26,038	23,546
固定資産合計	129,843	124,022
資産合計	283,514	278,313
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,919	37,676
短期借入金	4,444	4,666
未払法人税等	4,178	4,332
賞与引当金	1,892	3,299
その他	33,425	30,546
流動負債合計	77,860	80,521
固定負債		
長期借入金	1,091	1,206
退職給付引当金	6,181	6,160
その他	5,127	4,833
固定負債合計	12,401	12,200
負債合計	90,261	92,722

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	18,802	18,802
利益剰余金	172,496	168,283
自己株式	△29,831	△29,829
株主資本合計	177,459	173,248
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,744	1,745
繰延ヘッジ損益	△13	△28
土地再評価差額金	△546	△546
為替換算調整勘定	△5,564	△6,751
評価・換算差額等合計	△3,380	△5,580
少数株主持分	19,174	17,923
純資産合計	193,253	185,590
負債純資産合計	283,514	278,313

(2) 四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	83,947	84,363
売上原価	50,345	47,326
売上総利益	33,601	37,037
販売費及び一般管理費	*1 26,027	*1 27,044
営業利益	7,574	9,992
営業外収益		
受取利息	183	131
受取配当金	118	109
有価証券売却益	36	6
為替差益	577	1,355
その他	177	143
営業外収益合計	1,093	1,746
営業外費用		
支払利息	70	51
売上割引	463	695
その他	12	24
営業外費用合計	545	771
経常利益	8,122	10,967
特別利益		
固定資産売却益	1	1
貸倒引当金戻入額	5	—
特別利益合計	6	1
特別損失		
固定資産処分損	160	120
貸倒引当金繰入額	—	394
その他	3	3
特別損失合計	163	517
税金等調整前四半期純利益	7,965	10,451
法人税、住民税及び事業税	2,655	4,046
法人税等調整額	75	△991
法人税等合計	2,730	3,055
少数株主利益	1,117	1,464
四半期純利益	4,117	5,931

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	パーソナルケア (百万円)	ペットケア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	70,381	10,840	2,725	83,947	—	83,947
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	1	1	(1)	—
計	70,382	10,840	2,726	83,949	(1)	83,947
営業利益	5,733	1,698	114	7,546	27	7,574

(注) 1 事業区分の方法

各事業区分の方法は、製品・販売市場等の類似性を考慮して、当社の売上集計区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

- (1) パーソナルケア……ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、ヘルスケア関連製品等
 (2) ペットケア ……ペットフード製品、ペットトイレタリー製品
 (3) その他 ……食品包材製品、産業資材製品、ファイナンス業務等、その他

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	パーソナルケア (百万円)	ペットケア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	69,993	11,595	2,774	84,363	—	84,363
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	1	(1)	—
計	69,993	11,595	2,775	84,365	(1)	84,363
営業利益	7,273	2,433	272	9,979	12	9,992

(注) 1 事業区分の方法

各事業区分の方法は、製品・販売市場等の類似性を考慮して、当社の売上集計区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

- (1) パーソナルケア……ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、ヘルスケア関連製品等
 (2) ペットケア ……ペットフード製品、ペットトイレタリー製品
 (3) その他 ……食品包材製品、産業資材製品、ファイナンス業務等、その他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ・ 中東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	52,137	19,493	12,316	83,947	—	83,947
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,890	660	—	3,551	(3,551)	—
計	55,027	20,154	12,316	87,498	(3,551)	83,947
営業利益	4,416	2,871	290	7,577	(3)	7,574

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、中国、韓国、タイ等

(2) ヨーロッパ・中東……オランダ、サウジアラビア

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ・ 中東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	51,282	22,600	10,480	84,363	—	84,363
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,761	543	—	4,304	(4,304)	—
計	55,043	23,144	10,480	88,668	(4,304)	84,363
営業利益	6,464	2,890	611	9,966	26	9,992

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等

(2) ヨーロッパ・中東……オランダ、サウジアラビア

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ・北米	計
I 海外売上高（百万円）	19,494	9,270	4,452	33,217
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	83,947
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	23.2	11.0	5.3	39.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ等

(2) ヨーロッパ……………オランダ等

(3) 中東・北アフリカ・北米……………サウジアラビア・エジプト・アメリカ等

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ・北米	計
I 海外売上高（百万円）	22,604	6,176	4,623	33,404
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	84,363
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	26.8	7.3	5.5	39.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等

(2) ヨーロッパ……………オランダ等

(3) 中東・北アフリカ・北米……………サウジアラビア・エジプト・アメリカ等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
※1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売運賃諸掛 4,303百万円 販売促進費 8,718百万円 広告宣伝費 2,368百万円 従業員給与・賞与 2,500百万円 賞与引当金繰入額 797百万円 退職給付費用 281百万円 減価償却費 530百万円	※1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売運賃諸掛 4,395百万円 販売促進費 9,797百万円 広告宣伝費 2,020百万円 従業員給与・賞与 2,500百万円 賞与引当金繰入額 810百万円 退職給付費用 384百万円 減価償却費 500百万円